



手こぎ自転車で走る永野明さん(右)と伴走者(左) S T A
N Dのスタッフがビデオカメラで撮影(提供写真)

両足に障害のある東京都の会社員永野明さん(三三)が十九日まで十日間かけて、「T E I D Eマラソン2008」と銘打ち、手こぎ自転車で東京から故郷・福岡まで走った。このマラソンの様子を携帯電話のカメラを使って生中継した金沢市の特定非営利活動法

東京から福岡まで

金沢のNPO中継

人(NPO法人)のホームページ(HP)は、期間中の閲覧が約十四万件に上り、目標の五万件を大きく上回った。中継したS T A N D(スタンド、大塚公二代表理事)は伴走の自転車に携帯電話を付け、休憩所では、同行したスタッフの小島良介さん(三三)が

手こぎ自転車 ゴール

永野さんの様子を撮影。携帯動画の中継サイト「モバチュウ」に配信した。

「永野さんは睡眠二、三時間と頑張った。映像を見て『安心した』という反響もあり、やって良かった」と小島さん。永野さんは「HPで現在位置を確認し、沿道で応援

HP閲覧14万件

してくれた人もいた。ありがたかった」と話した。

ただ、降雨で遅れた日程をカバーしきれず、十八日夜に山口県の峠越えを断念。岩国市から下関市まで自動車で移動した。永野さんは来年五月に再挑戦する考えだ。

(經濟部・村松権主慶)